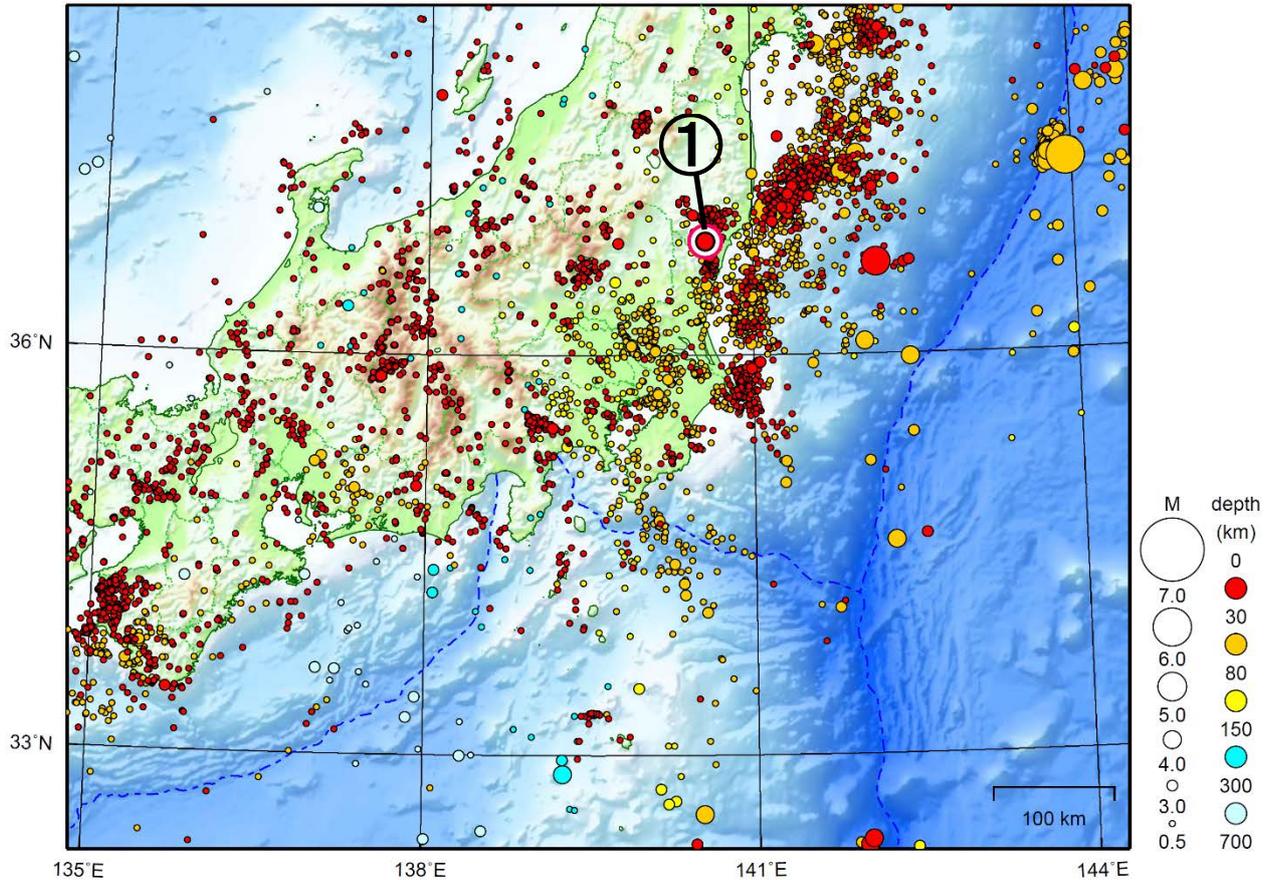


関東・中部地方

2017/10/01 00:00 ~ 2017/10/31 24:00

N=6278



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

① 10月1日に茨城県北部でM4.9の地震（最大震度3）が発生した。

（上記期間外）

11月3日に茨城県北部でM4.8の地震（最大震度3）が発生した。

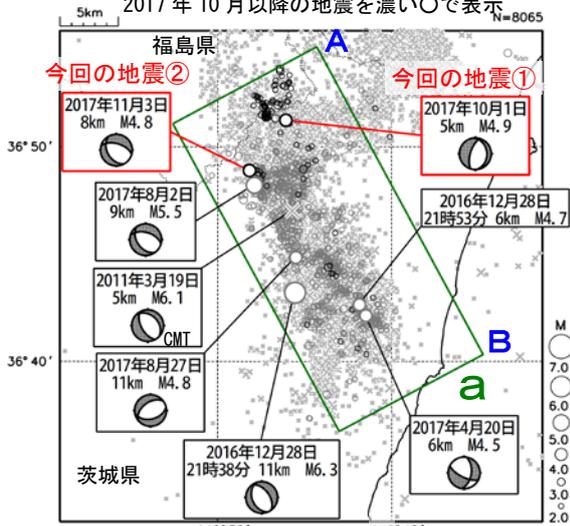
[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

10月1日、11月3日 茨城県北部の地震

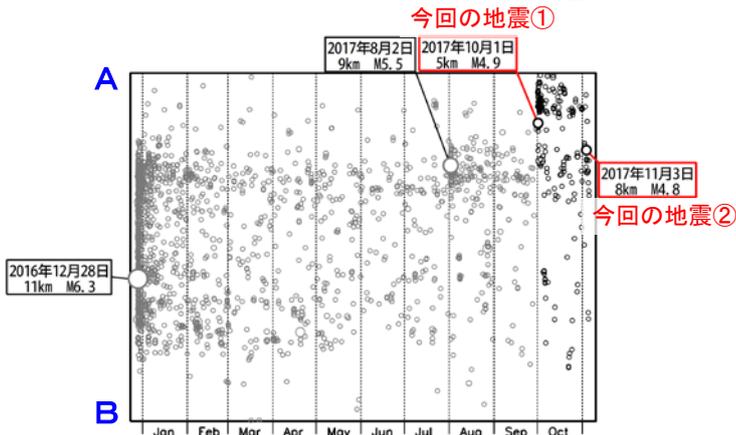
震央分布図

(2011年1月1日～2017年11月5日、
深さ0～20km、 $M \geq 2.0$)

2016年12月27日までの地震を薄い×で表示
2016年12月28日から2017年9月30日の地震を薄い○で表示
2017年10月以降の地震を濃い○で表示

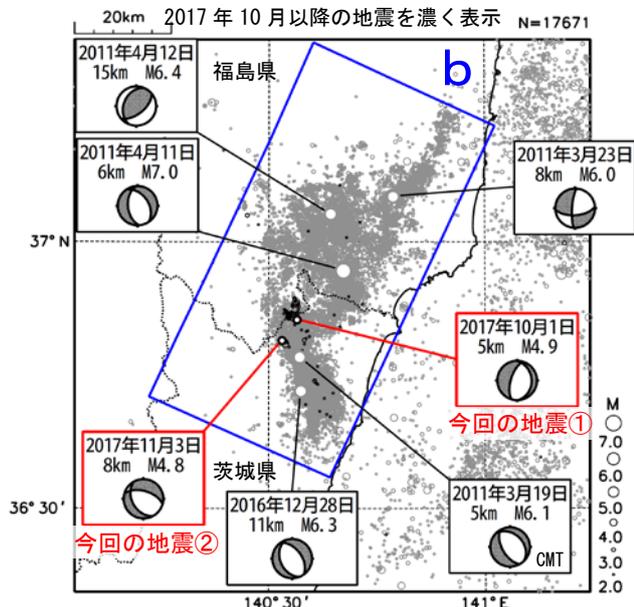


領域a内の時空間分布図 (A-B投影)
(2016年12月28日～2017年11月5日、 $M \geq 1.5$)



震央分布図

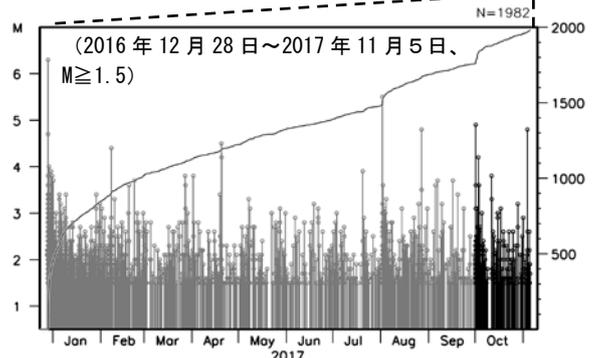
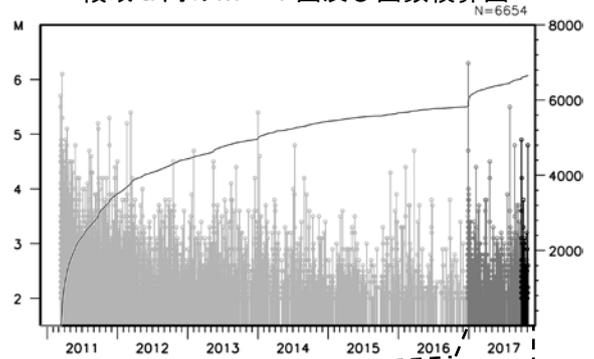
(1997年10月1日～2017年11月5日、
深さ0～30km、 $M \geq 2.0$)



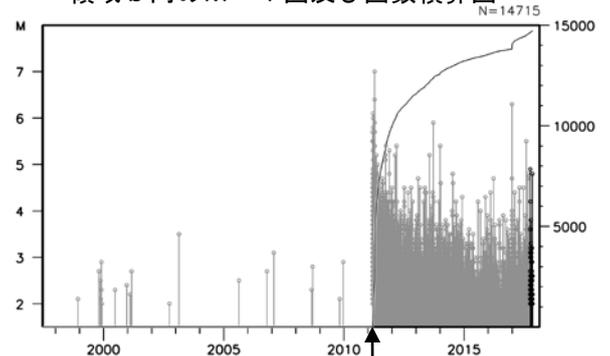
2017年10月1日10時25分に茨城県北部の深さ5kmでM4.9の地震 (最大震度3、今回の地震①) が発生した。また、同年11月3日21時38分に茨城県北部の深さ8kmでM4.8の地震 (最大震度3、今回の地震②) が発生した。これらの地震は地殻内で発生した。今回の地震①の発震機構は東西方向に張力軸を持つ正断層型で、今回の地震②の発震機構は北東-南西方向に張力軸を持つ正断層型であった。これらの地震は、2016年12月28日のM6.3の地震 (最大震度6弱) の発生以降にまとまった地震活動がみられている領域の北端付近で発生した。領域a内では、最大震度1以上を観測する地震が10月1日から11月5日までに15回 (震度3:3回、震度2:2回、震度1:10回) 発生している。

1997年10月以降の活動をみると、福島県浜通りから茨城県北部にかけての地殻内 (領域b) では、東北地方太平洋沖地震の発生後に地震活動が活発化し、2011年4月11日に発生したM7.0の地震では、死者4人等の被害が生じた (被害は総務省消防庁による)。この活発な地震活動は現在も継続している。

領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図及び回数積算図



東北地方太平洋沖地震発生